



表面性能テスト結果

コーティング表面性能1

テスト項目	実験方法	結果
物体同士を擦り合わせるテスト	0000#スチールウールを標準に、 100gの物を材料の上に載せて、往復20-30回移動 傷がついた本数を顕微鏡で数える。	<20本
adhesion test 接着力 1 方眼テスト	ナイフで1mmの距離で横線を何本か引いて、 方眼になるように縦も何本か線を引く。 3Mの接着テープで3回ぐらい貼ったり、剥がしたりを繰り返す。 その後コーティング剤が落ちてくるかどうか、確認する	Pass
adhesion test 接着力 2	コーティング済み基材板を100°C/30minの中に入れて、取り出して から温室で乾燥15min, その後adhesion test 1と同じ事をやる	Pass
曇り(結露)対策テスト	容量50mlのコップに80°Cのお湯を入れる コーティング済みの基材板をコップの上にかぶせて置く。 6分毎にお湯を一回交換する、曇り(結露)を防ぐ効果がなくなるまで 続ける。>20minだったら合格で、テスト停止	>24min 曇り(結露)が発生する
高湿度、高温テスト	1.基材板の真ん中に方眼になるように線を描く 65°C/95%RHの環境の中に8時間を置いたのち、 23+-5°C/50%RHの環境の中に16時間を置く 2.上記1の作業を3回繰り返す 3.上記の方眼テストも一回	Pass

コーティング表面性能2

テスト項目	実験方法	結果
低温テスト	レンズを0°Cの冷蔵庫の中に2時間放置し、取り出してから何秒後に透明な状態に戻るかを観察する。	<30秒
PUテスト	レンズをPU(プルトニウム)が入ってるコップに入れ、完全密封。 50°Cのオーブンの中に12時間放置したのち、方眼テストを実施。	Pass
室外曇り(結露)対策テスト	レンズをRH70%~75%の環境の中に15分放置してから室内に移動して更に10分放置したのち、レンズに曇り(結露)が発生するか観察する。	曇り(結露)は発生する 湿度が高い環境を作る 為にお湯を使用した為
ビニール袋テスト	室外でテストしたレンズをビニール袋に入れて、手で何度か摩擦し、 レンズに曇り(結露)が発生するかどうか観察する。 曇り(結露)が発生してから、綺麗になるかどうか布で拭いてみる。	PASS